

整理No.2019-34		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生場所		調色工場			
災害発生日時		2019年 2月18日(月) 11時 10分 天候(晴) 温度(- °C)湿度(- %)			
災害区分		不休災害 <u>休業災害(休業:3日)</u>			
被災者	部門	生産部		雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他()	
	年齢	39歳	性別: <u>(男)</u> 女	勤続年数 16年	経験年数 13年
	傷病名	病名 腰痛症(ぎっくり腰)			
	傷病部位	右腰部			
災害発生状況	1缶 調色時、内容物の液面が高くなってしまいこの状態での充填作業は、困難になると考え内容物の一部を抜きとろうと、秤の前で石油缶(内容物約17kg)を持ち上げ右図のような無理な体勢で行ったところ、腰部に激痛が起りその場で、動けなくなってしまった。		状況概略(写真orイラスト)		
					
災害の型※1		10	作業の形態: <u>定常</u> 、非常、その他()		
起因物:		石油缶	特記事項 <u>柄杓を使用して抜取ることがルール</u>		
原因分類	1.人的要因(man)	大丈夫だろうという思い込みで作業を行った。			
	2.物に関する要因(machine)	重量物を強引に持ち上げようとした。			
	3.環境要因(media)				
	4.管理的要因(management)	本来、「柄杓」を用いて行うルールを実行しなかった。			
対策	本来のルールである『柄杓』での抜取り作業を徹底、 <u>表示</u> を行い対策とした。				
					
対策分類※2		安全基盤 1-2 災害事故の想定と対応 安全文化 2-4 危険認識			
備考	類似箇所の摘出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)